

機関番号	研究種目番号	応募区分番号	小区分	整理番号
37111	00	0	00000	0000

令和2年度（2020年度）基盤研究（C）（一般）研究計画調書

令和XX年XX月XX日

入力した内容が反映されています。紙媒体の提出時は、作成日の下の版数表示が1版以上になっているか確認してください。

1版

新規

研究種目	基盤研究(C)		応募区分	一般			
小区分	XXXXXXXXXX						
研究代表者 氏名	(フリガナ)	フクダイ タロウ					
	(漢字等)	福大 太郎					
所属研究機関	福岡大学						
部局	〇〇学部						
職	准教授						
研究課題名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX						
研究経費  (千円未満の 端数は切り 捨てる)	年度	研究経費 (千円)	使用内訳(千円)				
			設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	令和2年度	1,540	500	400	220	200	220
	令和3年度	2,020	800	710	210	200	100
	令和4年度	720	0	360	230	0	130
	総計	4,280	1,300	1,470	660	400	450
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する						
研究計画最終年度前年度応募	--						

研究経費と使用内訳は、各経費の明細の入力内容から自動で計算されます。

いずれかの年度における研究経費の額が、10万円未満の場合は、応募できません。

「希望をする」を選択すると、採択されなかった場合の書面審査（1段階目の審査）等の結果について電子申請システムを通じて確認できます。

※「開示」は応募者のみに対して行われます。

※種目により審査結果の通知は異なりますので、公募要領P114を参照してください。

※次年度の学内経費「推奨研究プロジェクト（特定）」に応募される場合は、審査結果の情報が必要となりますので、必ず開示を選択してください。



様式の改変は認められません

## 1 研究目的、研究方法など

本研究計画調書は「小区分」の審査区分で審査されます。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領113頁参照）を参考にすること。

本欄には、本研究の目的と方法などについて、3頁以内で記述すること。

冒頭はその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的かつ明確に記述すること。

本研究を研究分担者とともにを行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述すること。

## （概要）

本欄には、今回応募する研究計画において何をしようとしているのか、その全体像を明らかにするため、研究計画調書に記載している指示に従って概要を含め記述すること。概要については、10行程度で記述すること。

・審査委員が研究目的を端的に把握できるように、完結にまとめること。次ページ評定要素の箇所を参照。

## （本文）

## ※留意事項：

1. 作成に当たっては、研究計画調書作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文全体は11ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。
5. 本留意事項（斜体の文章）は、研究計画調書の作成時には削除すること。

（1）～（3）を項目立てして記入する。

・全研究種目、**モノクロで印刷**され審査員に送付されます。印刷した際、内容が不鮮明とならないようご注意ください！

小見出しや連番を付して、強調したい箇所にはアンダーラインや文字の字体を変えて伝えたいことを理解しやすく・見やすく・読みやすく記述する。

・各年度において成果をどういう風に公表するか検討しておくこと、計画性が高く研究ノウハウを有しているという期待が高まります。

・計画通りに進まない時の対応や、複数の研究者で研究組織を構成する場合は、組織全体としての研究遂行能力や具体的な役割を記入する。（専門外の人でもイメージしやすいので、図版（研究体制の組織図や研究を進めるにあたってのフロー等）を用いて記述する。

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

1 ページ目の続きを記入してください。  
 本項目欄の 8～9 割程度を埋められるように、具体的に記述してください。

## 評定要素について

### 評定基準（基盤研究、若手研究）

#### 〔評定要素〕

##### （1）研究課題の学術的重要性

- ・学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか。
- ・研究課題の核心をなす学術的「問い」は明確であり、学術的独自性や創造性が認められるか。
- ・研究計画の着想に至る経緯や、関連する国内外の研究動向と研究の位置づけは明確であるか。
- ・本研究課題の遂行によって、より広い学術、科学技術あるいは社会などへの波及効果が期待できるか。

##### （2）研究方法の妥当性

- ・研究目的を達成するため、研究方法等は具体的かつ適切であるか。また、研究経費は研究計画と整合性がとれたものとなっているか。
- ・研究目的を達成するための準備状況は適切であるか。

##### （3）研究遂行能力及び研究環境の適切性

- ・これまでの研究活動等から見て、研究計画に対する十分な遂行能力を有しているか。
- ・研究計画の遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等、研究環境は整っているか。

#### 〔その他の評価項目〕

研究経費の妥当性

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

## 2 本研究の着想に至った経緯など

本欄には、(1)本研究の着想に至った経緯と準備状況、(2)関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、について1頁以内で記述すること。

本欄には、審査委員が今回応募する研究計画についてより理解を深めるため、当該研究の特色について、研究計画調書に記載している指示に従って記述すること。

### 3 応募者の研究遂行能力及び研究環境

本欄には応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について2頁以内で記述すること。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

研究計画調書の指示書きに従って記入すること。

「(1)これまでの研究活動」は本研究計画の実行可能性を示すよう、本研究計画に関連した研究活動を中心に記述すること。研究分担者がいる場合には、その想定される役割に関連した研究活動を中心に記述すること。

・産前産後の休暇及び育児休業の取得や、介護休暇の取得など、研究を中断していた期間がある場合は、その事情を本欄に記述してもよい。

#### ※留意事項

1. 研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。
2. 研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること。例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報、など。
3. 論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。
4. 本留意事項（斜体の文書）は、研究計画調書の作成時には削除すること。

【3 応募者の研究遂行能力及び研究環境（つづき）】

#### 4 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領4頁参照）

本欄には、本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には、その旨記述すること。

本研究は〇〇なので、倫理委員会等の承認が必要な研究計画には該当しない。

・「1 研究目的、研究方法など」欄に記述した内容と照らして記述してください。対応が必要な研究内容で本欄が未記入の場合、審査委員によってはマイナス評価になります。研究計画を遂行するにあたって「人権の保護及び法令等の遵守への対応」でどのような対策と措置を講じるのかを詳細に記述してください。

（相手の同意やコンセンサスを必要とする研究課題・ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組み換え等の研究課題 など）

・該当しない場合には、必ず「**本研究は〇〇なので該当なし**」等と記述してください。

**5 研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項**（該当者は必ず記述すること（公募要領27頁参照））

本欄には、本研究の研究代表者が行っている、令和2(2020)年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、本研究を前年度応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を1頁以内記述すること。  
 該当しない場合は記述欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

研究種目名	課題番号	研究課題名	研究期間
			平成 年 度～令和 2年度

**当初研究計画及び研究成果**

「研究計画最終年度前年度に応募」として新規に応募する場合（公募要領 P27 参照）は、研究計画調書に記載している指示に従い、各項目について10行程度で記述すること。該当しない場合は記述欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

**前年度応募する理由**

研究経費とその必要性

年度	設備備品費の明細					消耗品費の明細	
	品名・仕様	設置機関	数量	単価	金額	事項	金額
R2	ノートパソコン・FU0123	福岡大学	1	●●	●●	実験用動物	●●
R2	△△式◇◇検出器	福岡大学	1	●●	●●	統計解析ソフト	●●
R2						試薬等	●●
R2				計	●●	計	●●
R3						電子書籍	●●
R3						実験用動物	●●
R3						試薬等	●●
R3						計	●●

「金額」欄は、すべて千円単位で入力してください。

消耗品は薬品、実験用動物、ガラス器具等その品目毎に入力してください。

福岡大学では、H30年度より1個または1組が税込10万円以上かつ対応年数が1年以上の機械器具・什器備品（図書を除く）を設備備品としています。機械器具の場合は、単に〇〇一式とするだけでなくその内訳も入力してください。税込10万円未満のものは、消耗品費に計上してください。

図書は「設備備品費」、雑誌・小冊子・資料など一時的な利用価値しかないものは「消耗品費」に計上してください。多数の図書、資料を購入する場合は、「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で入力してください。

設備備品費、消耗品費の必要性

当該研究において、●●●●

- ・入力した経費の必要性・積算根拠について具体的に入力してください。
- ・いずれかの年度において、「設備備品費」が当該年度の全体の研究費の90%を超える場合、および「消耗品費」で特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の研究遂行上の必要性についても入力しなければなりません。

年度	国内旅費の明細		外国旅費の明細		人件費・謝金の明細		その他の明細	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
R2					資料整理 (1名×2月)	●●	学会投稿料	●●
R2							通信費	●●
R2	計	●●	計	●●	計	●●	計	●●
R3	●●学会発表 (東京・3日間)	●●					学会参加費	●●
R3					資料整理 (1名×2月)	●●		
R3	計	●●	計	●●	計	●●	計	●●
R4			学会発表 (アメリカ・5日間)	●●			学会参加費	●●
R4							印刷費	●●
R4	計	●●	計	●●	計	●●	計	●●

・「金額」欄は、すべて千円単位で入力してください。

【旅費】

国内外旅費ともに行き先・期間等を入力してください。学会など開催地が決まっていない場合でも、積算根拠とした都市名を入力し、金額を計上してください。

【人件費・謝金】

資料整理、実験補助、翻訳・校閲を本業でない人に頼む場合、専門的知識の提供、アンケート配付及び回収等を行う研究協力者に係る謝金、その事項ごとに入力すること。

※アルバイトの通常時間単価は 870 円です。

（例：資料整理（内訳：○人×月）・（△△千円）

【その他】

設備備品費、消耗品費、旅費、人件費当該研究を遂行するための経費

例）翻訳・校閲を業者へ依頼する場合、印刷費、複写費、現像・焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所貸上代（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコールは除く）費用等）、レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器及び器具等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会投稿料、HP 作成費用、研究成果広報用パンフレット作製費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動費用等）、実験廃棄物処理費等、その事項ごとに入力すること。

・英文校正料については、翻訳料・校閲を本業とする個人や団体に業務を依頼する場合は「その他」、本業ではない個人に依頼する場合は、「人件費・謝金」の費目に計上してください。

旅費、人件費・謝金、その他の必要性

当該研究において、●●●●

入力した経費の必要性・積算根拠について具体的に入力してください。

（1）応募中の研究費

研究者氏名					
資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割	令和2年度の研究経費（期間全体の額）	エフォート（%）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由（科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額）
【本応募研究課題】 基盤研究（C） （一般） （R2～R4）	○○○○  今回応募する課題については、研究組織欄に入力した金額が自動表示。	代表	800 (2,780)  (千円)	20	研究課題全体の直接経費の額（研究代表者の使用予定額と研究分担者の使用予定額を合わせた額）を入力。  (総額 4,280 千円)
特別推進研究 （R2～R4）	△△△	代表	50,000 (250,000)  (千円)	—	▼▼▼という点で、本申請課題とは異なり、当該研究課題では■■■を目的とする。  (総額 500,000 千円)
基盤研究（B） （R2～R5）	□□□□□ （福岡 花子）	分担	500 (1,000)  (千円)	5	○○○という点で、本申請課題とは異なり、当該研究課題では■■■を目的とする。  重複応募が可能であっても、重複して採択されることのない種目を記載する場合は、「—」を入力。
○○プログラム （R2～R3・ ◇◇大学）	△△△△△	代表	20,000 (50,000)  (千円)	30	×××という点で、本申請課題とは異なり、当該研究課題では△△△を目的とする。  (総額 100,000 千円)
<p>「役割」が、代表の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上段に令和2年度に研究代表者が使用する予定の直接経費の額（令和2年度に分担金として配分する額を含まない。応募中のものは応募額）を入力。</li> <li>・ 下段に（ ）書きで研究期間全体の研究代表者が使用する直接経費の総額（予定額）（研究分担者に配分予定の研究機関全体の直接経費を含まない額）を入力。</li> </ul> <p>「役割」が、分担の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上段に令和2年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額（予定額）を入力。</li> <li>・ 下段に（ ）書きで研究期間全体で自ら使用する分担金の総額（予定額）を入力。</li> </ul>					

